

(注) 本報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ベナン月報（2024年3月）

【内政】

- 1日、国民議会本会議で与党・共和党（BR党）提案による憲法改正案の採決が行われ、可決に必要な得票数（4分の3）を満たさず、否決。（4日各紙）
- 18日、タロン大統領は国民議会で採択された新選挙法に署名を行い、同法が公布。（20日、La Nation 紙他）

【外政】

- 3日から4日、ニジェール税関局派遣団はベナンを訪問し、ベナン税関局とセメ（Seme）港の原油輸出オペレーションに係る協議を実施。（5日、La Nation 紙他）
- 5日、ジョン・トッド交通安全国連特使はベナンを訪問のうえ、ピオ・チャネ開発・省庁間連携担当国務大臣と交通規則に関し、意見交換。（6日各紙）

【治安】

- 11日、アリボリ（ALIBOLI）県ニッキ（Nikki）で、偽造医薬品2トンが国家警察に押収。（14日、Le Matinal 紙他）
- 18日から21日まで、ロシア軍高官がベナンを訪問し、ヌアティン国防担当副大臣及びバギディ陸軍参謀総長と軍事協力につき協議（在ベナン・ロシア大使同席）。（22日、L' Economiste 紙）

【経済】

- 18日から20日、EU派遣団がベナンを訪問し、水・衛生等の分野支援として、ワダニ経済・財務大臣と1億6,600万ユーロの資金供与に係る署名を交換。（20日各紙）

【文化・その他】

- 21日、在ベナン日本国大使館は令和5年度天皇誕生日祝賀レセプションを開催し、一條基信臨時代理大使が挨拶。ベナン側からはマルティニアン・アコ外務副事務次官が挨拶。また同レセプションには政府要人や各国大使等が出席。（25日、Le Matinal 紙他）

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L' Evénement Précis 紙、L' Economiste 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- 1日、国民議会本会議で、与党・共和党（BR党）のセイブ議員提案による憲法改正案の採決が行われ、賛成71票、反対35票、棄権2票で、可決に必要な得票数（4分の

- 3) を満たさずに否決された。(4日各紙)
- ・ 5日から6日にかけての深夜、国民議会で選挙法改正案に係る採決が行われ、賛成79票、反対28票、棄権1票の賛成多数で可決した。(6日各紙)
 - ・ 13日、野党・民主党(Les Democratés党)、新興ベナン(F C B E党)及び解放人民運動(M P L党)等は、改正選挙法に対する不支持を表明するため、共同記者会見を開催する旨発表した。(13日、L' Evenement precis紙)
 - ・ 14日、憲法裁判所は、タロン大統領による改正選挙法の合憲性に係る判断、及び国民議会議員による改正選挙法に係る8つの控訴に対し、合憲判断を下した。(15日各紙)
 - ・ 18日、タロン大統領は国民議会で採択された新選挙法に署名を行い、同法を公布した。(20日、La Nation紙及びLe Matin Libre紙)

【外政】

- ・ 2月29日、キューバ、ドイツ、オランダ、エジプト、ガンビア、ジンバブエ、メキシコ、アンゴラ及びブルキナファソの大使が信任状写しをタロン大統領に捧呈した。(1日、Le Matinal紙、13日、La Nation紙)
- ・ 3日から4日、ニジェール税関局派遣団がベナンを訪問し、ベナン税関局とセメ(Seme)港の原油輸出オペレーションに係る協議を行った。(5日、La Nation紙、Le Matinal紙及びL' Economiste紙)
- ・ 5日、ジョン・トッド交通安全国連特使はベナンを訪問のうえ、ピオ・チャネ開発・省庁間連携担当国務大臣と交通規則に関し、意見交換を行った。(6日各紙)
- ・ 6日、アダンビ・エネルギー・水利・鉱山大臣は、在ベナン・アルカービU A E大使とエネルギー分野に係る二国間協力の関係強化につき協議を行った。(8日、Le Matinal紙)
- ・ 19日、国民議会で在ベナン・ブッフバルト独大使は、ウラヴォヌ国民議会議長と二国間協力につき協議を行った。(20日、Le Matinal紙)
- ・ 26日、ベッテル・ルクセンブルク副首相兼外務大臣は、在ベナン・ルクセンブルク大使館の開館につき、アジャディ・バカリ外務大臣と会談を行った。(27日、La Nation紙)

【治安】

- ・ 2日、ナイジェリアの沖合で、窃盗の疑いがある2百万リットルのガソリンを積載するベナン行きの船舶がナイジェリア海軍により拿捕された。(6日、Le Matinal紙)
- ・ 11日、アリボリ(ALIBOLI)県ニッキ(Nikki)で、偽造医薬品2トンが国家警察に押収された。(14日、Le Matinal紙、15日、Le Matin Libre紙)
- ・ 18日から21日まで、在ギニア共和国駐在のロシア軍ゴルロフ少将がベナンを訪問し、ヌアティン大統領付国防担当副大臣及びバギディ陸軍参謀総長と軍事訓練協力につき協議を個別で行った(在ベナン・ロシア大使同席)。(22日、L' Economiste紙)

【経済】

- ・ アフリカ開発銀行（AfDB）の報告書「アフリカのマクロ経済パフォーマンスと展望（MEO）」によれば、ベナンの失業率の低さはアフリカ地域で4位であった。（1日、Le Matinal 紙）
- ・ 6日から7日、シュルツェ独経協相及びディアガナ世銀副総裁（西部・中央アフリカ地域総局）はベナンを訪問し、現地支援プロジェクト及びグロ・ジベ経済特区（GDIZ）を視察した。（8日、Le Matin Libre 紙）
- ・ 7日、アダム・スレ・ズマル ICT・デジタル化大臣は在ベナン加大使館の主催する AI 円卓会議に出席し、カナダ元老院議長と同議会代表団をはじめ、学术界及び AI 産業界関係者と両国の AI に係る協力につき議論した。（8日、La Nation 紙）
- ・ 8日、在ベナン加大使館は第39回国際女性デーにあたりアボメ・カラヴィ大学において、レイモンド・ガーニュ加元老院議長の出席の下、女性のリーダーシップに係るパネルディスカッションを開催した。（11日、Le Matinal 紙）
- ・ 18日から20日、EU、欧州投資銀行及び仏開発庁（AFD）から成るEU派遣団がベナンを訪問し、水・衛生・レジリエンス・起業家支援・治安・職業訓練及びエネルギー分野支援として、ワダニ経済・財務大臣と1億6,600万ユーロの資金供与に係る署名を交わした。（20日各紙）

【文化・その他】

- ・ 3日、グラスゴー（イギリス）2024世界室内陸上競技選手権大会に出場したヤリゴ選手は、陸上800mで3位に入賞し、銅メダルを獲得した。（5日各紙）
- ・ 21日、記者会見でアビンボラ観光・文化・芸術大臣は、4月20日から11月24日まで開催される2024年ヴェネチア・ビエンナーレで、ベナンのパビリオンを初出展することを発表した。（22日、Le Matinal 紙）
- ・ 21日、在ベナン日本国大使館は、令和5年度天皇誕生日祝賀レセプションを行ない、一條基信臨時代理大使が挨拶。ベナン側からはマルティニアン・アコ外務副事務次官が挨拶。同レセプションには、政府高官、各国大使、国連機関関係者及び邦人企業関係者等、約200名が参加した。（25日、Le Matinal 紙及び L' Événement Précis 紙、26日 L' Economiste 紙）